



THINK **INTEGRITY**  BUILD **TRUST**

SGS高潔性行動規範

SGS.COM

SGS



目次

取締役会長兼CEOからのメッセージ	5
SGSの高潔さを重要視する文化	6
SGS高潔性行動規範の推進	7
SGS高潔性行動規範のルール	8
事業活動	9
誠実なサービス	9
サプライヤーとビジネスパートナー	9
利害の対立	10
贈り物、接待、おもてなし	11
公正な競争	11
寄付とスポンサーシップ	11
資産の保護	13
事業資産とリソース	13
誠実な業務記録	13
外部とのコミュニケーション	14
敬意を伴った行動	15
労使関係	15
いじめと嫌がらせ	15
差別の禁止	15
データプライバシー	15
健康・安全・環境	16
法令遵守	17
法令遵守	17
汚職防止	17
インサイダー取引	17
制裁と貿易統制	18
マネーロンダリングと犯罪・テロ資金供与	18



取締役会長兼CEOからのメッセージ

皆様へ、

SGSで行う事業の
中核は高潔性です。
組織としても、また個人と
しても成功をおさめる鍵と
なるのが、顧客や関係者の
皆様から寄せられる
信頼なのです。

業界のリーダーとして私たちは
すべての事業活動において、
最高水準の専門家に徹した意識と高潔
性を維持します。私達の活動の礎が高
潔性行動規範です。

これはSGSおよびそのさまざまな事業、
関連会社全体で共有される中核となる
価値観を言語化したものです。この規範
は私達皆が複雑な状況を乗り越えるた
めの意思決定ガイドとして機能します。

私達は、SGSのブランドと評判を守るべき
立場の者として、市場でSGSが表明して
いる価値観を擁護するために努力し続け
ます。この目標を達成するため、社内・
顧客・パートナーとのやり取りにおける行
動が誠実かつ透明であるように尽力して
いるのです。

この取り組みの一環として奨励している
のがアイデアや情報を交換し、助言を求
め、報復を恐れることなく懸念を表明で
きる開放的な文化です。

SGS高潔性行動規範により、
その原則に沿った行動が可能となりま
す。私達は力を合わせて最高水準の行
動規範を維持し、より良く安全な、互いに
繋がりがあつた世界を実現することができ
るのです。



Gilbert Ghostine
取締役会長



Géraldine Picaud
最高経営責任者(CEO)

SGSの高潔さを重要視する文化

倫理原則

信頼

信頼は私達の最も貴重な資産であり、ブランドと評判の礎です。私達の誠実さが顧客と第三者によつての拠り所であり、信頼は日々育まれ守られるべきです。信頼は一瞬にして崩れる可能性があります。

誠実さと透明性

私たちが行うすべてのことにおいて、自分自身、同僚、顧客、関係者に対して誠実でなければなりません。いかなる状況であっても嘘や欺瞞、誠実さの欠如は正当化されません。

説明責任

行動の有無にかかわらず何事にも結果が伴います。

私達は自分の選択の結果を受け入れ、自身の行動について他者を責めることはしません。

公平性

私達は公平性かつ客観性を伴った倫理的な行動の可能性を信じています。決定を下すにあたっては、独断専行的な選択や個人の好みではなく、善行の原則および基準を尊重し、その導くところに従います。

適切な質問を自問する

特定の行動方針について疑問がある場合は、次の質問を自問してください。

- ・ その行動は法律や道徳に反しているかもしれないと自分は疑っているのか？
- ・ その行動が新聞に報道されたり、この件について家族や友人に話をしたらどのように思われるか？

- ・ 提案された行動方針には嘘や虚偽がないだろうか？
- ・ 提案された行動方針に個人の安全や他者の健康を危険にさらす可能性はあるのだろうか？
- ・ 提案された行動方針により、SGSやその評判が脅かされるだろうか？
- ・ 取引は正当な事業目的に基づいているだろうか？

上記の問いの結果ひとつでも法令や道徳に反するような答えが出た場合は助言を求めて再検討してください。



SGS高潔性行動規範の推進

本規範を信頼する

SGSの成功は、顧客、従業員、株主
その他事業を行っている地域社会の関
係者から日々得られる信頼にかかっ
ています。

SGSはこの高潔性行動規範の
効果的な推進を通じてこの信頼の維持を
重視しています。

本規範を実践する

この規範は従業員、役員、
SGS SAおよびその関連会社の
取締役の皆様に適用されます。

SGSの代理として行動する第三者は、
当社およびその従業員に言及する場合を
含め、行動規範のすべての部分を
遵守しなければなりません。

本規範を理解する

この行動規範を読んで理解し、
その原則を遵守することは
各SGS従業員自身の責任です。
従業員は定期的な高潔性トレーニングに
参加する必要があります。また、管理職
の皆様は、直属のすべての部下が適切
なトレーニングを受け、トレーニングコー
スの内容を完全に理解し、行動規範を
遵守・適用できることを確認する必要が
あります。

本規範を適用する

この高潔性行動規範はSGS SA取締役会
によって承認され、取締役会がそれが任
命するその他の監督機関とともに
その実施を監督します。

SGSグループ最高コンプライアンス責任
者は、SGSグループ全体のコンプライア
ンス戦略を決定し、コンプライアンス専門
家のネットワークを通じてSGS高潔性プロ
グラムを管理するビジネス倫理機能を監
督します。

本規範は2024年5月から効力を生じ、
旧版(2012年)は差し替えられます。

SGS関連会社は本規範の対象範囲内
でより詳細、またはより厳格なポリシーを採
用する場合があります。

管理職の皆様は、監督下にある従業員
が誠実に行動し、本規範を遵守している
ことを確認してください。

本規範についての 助言を求める

SGSでは、高潔さと職業倫理の問題をオ
ープンに提起・議論できる文化に取り組
んでいます。従業員が本規範を理解し、
倫理的ジレンマに直面したときに正しい
決定を下せるよう、ガイダンスとサポート
が提供されます。管理職の皆様に求めら
れるのは、助言を必要とする人や懸念を
表明する人に対して、真剣かつ内密に対
応することです。

本規範の意味や特定の状況への適用に
ついて疑問がある場合、SGSの従業員は
SGS高潔性ヘルプラインの利用が奨励さ
れています。ヘルプラインでは、匿名での
質問が可能で、複数の言語で助言を求め
るためのさまざまなオプションも
提供されています。

本規範の ルールを守る

たとえ小さくとも、本規範に対する違反は
SGSの評判とブランドを傷つける可能性
があるため容認されません。本規範に違
反した場合は懲戒処分の対象となり、重
大な違反の場合は解雇や刑事訴追の可
能性も生じます。

本規範に対する 違反を報告する

SGSの従業員および第三者には、SGS高
潔性ヘルプラインを使用して、規範の違
反が疑われる場合や違反が判明した場
合は声を上げ、報告することが奨励され
ています。これは複数言語で報告を提出
するためのさまざまなオプションを提供す
る、安心安全なプラットフォームです。報
告は匿名で提出できます。

提供された情報は 安全に保管され、
最大限の機密性を保つ
て取り扱われます。

本規範違反の疑いまたは既知の違反の
報告を受けた管理職は、該当するSGSグ
ループポリシーに則り違反をエスカレーシ
ョンする必要があります。

報復禁止

SGSは、誠実に助言を求め、
懸念を表明し、規範違反を報告した従業
員に対してあらゆる形の報復や不利な扱
いが発生しないよう、その従業員を保護
します。誠実に規範違反を報告した
SGS従業員に対する報復は固く禁じられ
ており、懲戒処分の対象となります。

質問や助言を求める、あるいは懸念事項
や高潔さに対する違反を報告する場合
は、<http://integrityhelpline.sgs.com>にア
クセスしてください。

SGS高潔性行動規範のルール



事業活動

誠実なサービス

サービスの提供

すべてのSGSサービスは、適用されるSGSグループのポリシー・標準・方法に則り専門的かつ誠実に実施されなければなりません。

SGSは判断の独立性を保っています。圧力に屈して、検査結果を偽ったり、検査、認証、監査、試験の結果を変更することはありません。所見はすべて適切に文書化し、虚偽または誤解を招くような報告書・認証を発行することはありません。

プロセスの完全性

SGSが行うサービスに関連するすべての文書は、物理的形式およびデジタル形式の両方で、完全かつ正確であり、適用されるSGSグループポリシーに則り維持・アーカイブされなければなりません。当該文書へのアクセス(その変更・修正・追加・削除を含む)は、適用されるSGSグループポリシーに則り記録する必要があります。

サービスの専門知識

SGSの中核業務には、サービスの遂行および顧客と関係者への価値提供に必要なスキル・知識・資格が含まれます。SGSの従業員には、自分の資格に関して正直かつ透明性を保つことが求められます。資格や証明書の偽り、また不正行為やその他詐欺的な手段によるそれらの取得は、非倫理的かつ不正行為とみなされ、固く禁じられています。

サプライヤーとビジネスパートナー

慎重な選定プロセス

SGSは相互信頼に基づいたサプライヤーとビジネスパートナーとの長期的パートナーシップの確立を目指しています。

SGSは共有された企業価値と持続可能性の目標に基づいてサプライヤーとビジネスパートナーを選定します。ビジネスが誠実さを伴って確実に遂行されるよう、SGSがサプライヤーとビジネスパートナーを監督します。

物品およびサービスの調達

サプライヤーからの商品やサービスの購入またはビジネスパートナーの選定を担当するSGSの従業員は、サプライヤーまたはビジネスパートナーの品質と評判にしかるべき注意を払い総合的に最良の価値あるものを確保するという唯一の目的を持って行動しなければなりません。

SGSは個人の好みに基づいてサプライヤーやビジネスパートナーと契約することはありません。

商品やサービスを提供しようとするサプライヤー、ビジネスパートナーまたは団体から、自分自身または第三者に対して何らかの形の利益を求めることは固く禁じられています。

承認プロセス

サプライヤーとビジネスパートナーの契約には、適用されるSGSグループポリシーに則った承認が必要です。



利害の対立

一般原則

利益相反は、SGS従業員の個人的な利益、または近親者や親しい友人の利益が、従業員の判断、客観性、独立性またはSGSに対する忠誠心を妨げる可能性がある場合に発生します。

SGS従業員の近親者と定義されるのは、その配偶者、子ども、孫、親、祖父母、兄弟姉妹、義理の兄弟姉妹、義理の息子と娘、おじ、おば、姪、甥、および従業員と同居している人です。

従業員は、潜在的な利益相反をすべて直ちに管理者に書面で申告し、潜在的な利益相反の影響を受ける限り、意思決定プロセスに関与しない必要があります。

特定の状況における特定の要件

従業員は、利益相反の状況や利益相反の疑いを回避するため、特定の要件を考慮する必要があります。これには、特定のケースでは厳格な禁止が含まれ、その他のケースでは適用されるSGSグループポリシーに則った事前の承認が含まれます。

サービスの公平性

SGSの従業員自身またはその近親者が重要な株式やその他経済的利益を有しているか、調達担当、経営陣または取締役の地位に就いている場合、SGS従業員は、その既存または見込みSGS顧客へのサービス提供関与を禁じられます。

物品およびサービスの調達

潜在的な紛争がそれに影響を受ける従業員のライン管理者に報告されている場合やその従業員が調達プロセスに関与しない場合を除き、直接的または間接的に重要な株式やその他の金銭的利益を

保有しているサプライヤーやビジネスパートナーからSGS従業員やその近親者が商品を購入し、そのサービスに従事することは禁止されています。

SGSの従業員は自分自身または近親者が営業、管理職または取締役の役職に就いているサプライヤーまたはビジネスパートナーを選定する場合、その調達プロセスへの関与を禁じられます。

近親者の雇用

SGS従業員の近親者の雇用は、適用されるSGSグループポリシーに則り事前の承認が必要です。SGSの従業員は近親者の雇用プロセスの監督、雇用プロセスに影響を与えること、また近親者の昇進や報酬などの雇用条件の監督・管理への関与、その他何らかの影響を与えることを禁じられています。

SGSの従業員は、SGSの募集中の職種を近親者を紹介することはできませんが、その者に内部情報を共有することは禁止されています。

SGS社外取締役

SGS社外の企業、専門家団体、事業者団体またはその他団体の取締役会メンバーになるには、適用されるSGSグループポリシーに則り事前の承認が必要です。

公職

いかなるレベルの公職に就く場合も、適用されるSGSグループポリシーに則り事前の承認が必要です。

SGS社外の業務

SGS以外で副業を行う、または雇用(自営業を含む)される場合は、適用されるSGSグループポリシーに則り事前の承認が必要です。

ただし、従業員がSGSの雇用期間中にサービスを提供したSGSの顧客のために働くこと、SGSのサプライヤーまたはビジネスパートナーのために働くこと、SGSの競合他社のために働くこと、SGSと競合すること、およびSGSの顧客または見込み顧客にあらゆる形態の専門サービスまたはコンサルティングサービスを提供または関与することは禁止されています。

外部への投資

証券取引所で公開取引されている株式を取得する場合を除き、SGSの顧客、サプライヤー、ビジネスパートナーまたは競合他社に対して個人的に投資を行うことは禁止されています。



贈り物、接待、おもてなし

一般原則

SGSの評判を傷つける可能性のある、あるいはビジネス上の意思決定に不適切な影響を与える、もしくは不適切な影響を与えているように見えるようなあらゆる形態の贈り物、接待、おもてなしは避けなければなりません。

SGS従業員の贈答禁止ポリシー

SGSの従業員は、既存または見込み顧客、サプライヤー、ビジネスパートナーからあらゆる種類の贈り物、現金、チップまたは融資を受け取ることを禁じられています。唯一の例外はカレンダー、ペン、メモ帳などのささやかな販促品および食品や飲料などの生鮮品です。生鮮品は、現地のポリシーに従ってSGS関連会社の従業員間で共有および配布する必要があります。

受け取った贈り物を返却すると相手に不快感を与える可能性がある場合は、慈善団体への寄付など、現地のポリシーに従って適切な処分方法を選択する必要があります。

従業員に提供される接待とおもてなし

SGSの実施するサービスに関連して接待とおもてなしが行われる場合、または既存あるいは見込みサプライヤーやビジネスパートナーが、調達プロセスやサプライヤー、ビジネスパートナーの選定に関わるSGS従業員に対して接待とおもてなしを行う場合、SGS従業員はそのような歓待を受けることを禁止されています。

SGSの従業員は適用されるSGSグループポリシーに則り既存または潜在的な顧客、サプライヤー、ビジネスパートナーから受けるすべての接待とおもてなしを事前に開示しなければなりません。

状況により事前に知らせることができない場合は、接待とおもてなしを受けた後直ちに開示する必要があります。

第三者にSGSが提供する贈答品と接待

カレンダー、ペン、メモ帳などのささやかなSGS販促品、および受取人1人あたり年間合計金額が100スイスフランを超えない食品や飲料などの生鮮品を除き、SGSの従業員は第三者へのいかなる種類の贈り物、現金、チップまたは融資の提供も禁じられています。

例外が発生する場合は、適用されるSGSグループポリシーに則り事前の承認が必要です。ビジネス会食を除き、第三者への旅費、宿泊費、接待費の支払いを申し出る場合は、適用されるSGSグループポリシーに則り事前の承認が必要です。

公正な競争

SGSは競合他社に負けない公正な市場慣行で事業を行っています。

SGS従業員は、市場状況に不当な影響を与えることや、市場における不当な優位性を獲得することを目的とした第三者との直接的または間接的なあらゆる共謀を禁じられています。

SGS従業員は、価格、契約条件、市場割り当て、地域または顧客分担などについて競合他社と意見を交わしてはなりません。

SGSは、サービスや機能の欺瞞的または誤解を招くような方法での販売や、また、競合他社に関する中傷や虚偽の内容を流すことはありません。

SGSは、法律に違反する方法や非倫理的な方法で、競合他社に関する機密情報を取得することはありません。

寄付と協賛

政治関係または宗教関係の寄付禁止

SGSは事業を展開するすべての国の政治過程において中立を保つという厳格な方針を堅持しています。SGSは、いかなる政党、公職者、公職候補者、政治運動または宗教団体に対しても、直接的または間接的な資金やリソースの支援または提供を行いません。

寄付と協賛

SGSによる慈善団体への寄付、SGSによる非営利のコミュニティベースプログラムへの直接的な貢献およびSGSを宣伝するための協賛を行う場合は、適用されるSGSグループポリシーに則り事前の承認が必要です。

慈善寄付、非営利プログラムへの直接寄付、協賛は第三者に影響を与えて自分自身、SGS、またはその他第三者に不正な利益を与えることを意図、またはそのように見える場合は承認されません。



資産の保護

ビジネス資産 およびリソース

会社の資産と資金の保護

SGSの従業員にはSGSおよび第三者の資産、資源、資金を保護する義務があります。またそれらの不適切な利用、すなわちいかなる形でも個人的な利益を目的としてそれらを利用してはなりません。

ITリソースの使用

会社のコンピューター、ネットワークシステムおよび電子通信機器は、適用されるSGSグループのポリシーに則り、業務関連の目的にのみ使用する必要があります。

電子メール、インターネット、その他電子通信手段の使用は、不正使用の疑いが生じた場合、SGSによって監視・監査されることがあります。

秘密保持

SGSは、事業の一環としてSGS従業員、顧客やサードパーティが託す機密情報を尊重・保護し、偶発的な開示を防ぐため適切な措置を講じます。

正当なビジネス目的でない限り、従業員は機密情報へのアクセスを要求してはなりません。

従業員はSGS情報の機密性を保持し、SGS、その事業、業績、投資、戦略、顧客に関する機密情報の開示や意見を交わすことはなりません。この義務は雇用関係終了後も続きます。

知的財産

SGSは自社の知的財産を保護し他社の知的財産を尊重します。

SGSに属する知的財産には、プロセス、設計、方法、経営方針、商業およびマーケティング戦略、顧客情報、価格設定とコストモデルなど、さまざまな形態があり得ます。

SGSに属する知的財産は競争上の優位性を生み出す上で中心的な役割を果たしており、漏洩や悪用から保護されなければなりません。

個人の安全

SGSの敷地および施設は、SGSの従業員、訪問者、およびその他関係者全員にとって安全な作業環境でなければなりません。

マネージャーはセキュリティリスクを評価し、それに応じてあらゆる合理的な手順を踏んで作業を計画する必要があります。

誠実な業務記録

真実、正確、完全な記録

物理的およびデジタル形式両方で記録されるSGSの業務および財務記録は完全、真実、正確かつ公正なものでなければなりません。

適用される法律およびSGSグループポリシーに則り、すべての情報と取引は適時に届けられ、保管されなければなりません。

SGS従業員が禁止されている行為例は以下のとおりです。

- ・ 業務または財務記録の偽造あるいは虚偽表示
- ・ SGSグループのポリシー、手順または適用法に反した業務記録の改変または破壊
- ・ ゴールや目標達成のため売上高を偽る、または改竄すること
- ・ 旅費やその他経費に関する虚偽または過大な経費請求の提出
- ・ 虚偽または水増しした勤務時間や残業時間のタイムシートの提出



外部とのコミュニケーション

完全かつ 正確な情報

SGSには、株主、投資家、市場、そして地域社会全体に対して、その事業と活動に関する完全で正確、かつ透明な情報を提供する法的義務があります。SGS、その事業および財務実績に関する株主、投資家、メディアおよび一般向けの伝達を行えるのは、認められた者のみです。

情報開示

SGSブランドと評判を保護するため従業員は次の基準を遵守する必要があります。

- ・ いかなる従業員も許可されていない限り、SGSを代表して発言してはなりません。またメディア、金融アナリスト、または現在または潜在的な投資家に対してSGSに関する情報を論じることまたは情報の開示、SGSを代表した何らかの公的声明の発表をしてはなりません。

- ・ 宗教、政治または扱いの難しい話題に関する個人的な意見を、SGSのレターヘッド、電子メール、またはその他そのような意見や資料がSGSに帰属するとみなされるような状況で表明してはなりません。
- ・ オンラインディスカッションフォーラムやソーシャルメディアに参加する際、SGSの従業員は行動規範および適用されるSGSグループポリシーに則る必要があります。



敬意を伴った行動

労使関係

SGSは、全従業員の人権と雇用権を尊重し、労働規則およびSGSが活動している各国の法律を遵守した職場環境作りに取り組んでいます。

公正な労働

SGSは、人の意志に反して働かせたり、尊厳を奪うような労働形態は一切行いません。

SGSでは児童労働と強制労働を固く禁止しています。SGSは児童労働や強制労働を行っているサプライヤーやビジネスパートナーのサービスを利用しません。

SGSは、事業を展開する国の最低賃金を尊重し、現地の法律および賃金とその金額の変化に関して拘束力のある団体交渉協定で定められたすべての必須要件を遵守します。

結社の自由

SGSは従業員が労働組合を結成し、加入し、団体交渉を行う権利を認めます。

結社の自由や団体交渉の権利が法律で制限されている状況にある場合、SGSは独立した自由な結社および交渉の並行手段を促進します。

いじめと嫌がらせ

SGSの従業員はすべての個人に対し敬意を持って接しなければなりません。いじめ、嫌がらせまたはあらゆる形態の虐待は固く禁じられています。

いじめや嫌がらせは身体的暴力、性的または精神的虐待として発生します。

SGSの従業員は他の人に脅威や不安を感じさせるような行為や行動を絶対に行ってはなりません。性的誘惑、性的な接待の要求、不適切な身体的接触、その他の性的性質またはその他言葉による または身体的な嫌がらせは容認されません。

差別の禁止

SGSは、多様性を維持し、全従業員が平等に尊厳と敬意を持って扱われるインクルーシブな職場の維持に取り組んでいます。すべてのSGSの従業員は、業務関連のスキル、資格、行動、パフォーマンスのみに基づいて扱われ、評価される必要があります。

SGSにおける雇用関係のあらゆる側面は、人種、肌の色、民族、社会的地位、性別、ジェンダー、性的指向、配偶者の有無、家族状態、年齢、障害の有無、身体疾患、宗教、国籍、所属する政党、組合員であるかどうかに関わらず、機会均等の原則に基づいています。差別は許容されません。

データプライバシー

個人情報の尊重

SGSは最大限の敬意と配慮を持って、SGSの従業員、顧客、第三者の個人情報を適用されるSGSグループポリシーに則り 収集・管理・処理します。

SGSはデータ処理の対象となる個人にその権利を確実に知らせます。

個人データの保護

個人データは、正当な法的および業務上の目的で、データ処理の対象となる個人から事前の明示的同意がある場合にのみアクセス・処理・利用・共有される必要があります。個人データは必要な期間に限り保持され、安全に保管および廃棄されなければなりません。



健康・安全・環境

SGSは、すべての従業員、訪問者、その他関係者、また物的資産と環境を、あらゆる業務上の事故、危険、損害から完全に保護するよう取り組んでいます。

健康と安全

怪我や職業病のリスクを防ぐため、SGSの従業員は、以下の最低要件の遵守が求められます。

- ・ 安全な作業慣行と適切な指導を遵守し、健康と安全を確保する意識的かつ責任ある決定を下すこと

- ・ 個人の健康と安全、また職場の他のすべての人の健康と安全を確保できる方法ですべての職務を遂行すること
- ・ 安全で健康的な職場環境を構築・維持するよう同僚に奨励すること
- ・ SGSグループポリシーと関連法に則り必要に応じて 労働災害や汚染事故の報告・記録を行うこと

労働災害や汚染事故を報告することにより、従業員がペナルティを課せられることはありません。

環境

SGS従業員は、顧客に対してだけでなくSGS敷地内でも環境に配慮した行動を取り、適用されるすべての環境法の要件を遵守し満たすことで、環境の保護と改善促進に貢献します。



法令遵守

法令遵守

SGSは事業を展開する国の適用法を遵守します。SGSの活動のさまざまな側面を規定する法律は複雑なものになる場合があります。従業員は日常業務に適用されるルールを知る必要があります。法律を知らないことは言い訳になりません。

本規範またはSGSグループポリシーは適用法で義務付けられているものより厳しい基準を課しています。従業員はそのより厳しい基準に従わなければなりません。

従業員は証拠を隠蔽したり、文書を破壊したり、誤解を招いたり、その他正当な調査を妨害したりしようとはなりません。

汚職防止

SGSはいかなる形態の腐敗行為にも関与せず、容認もせず見逃すこともしません。

便宜を図るために金銭を渡すことは禁じられており、当局による便宜を図るための支払いの要求は拒否しなければなりません。

汚職の報告

現金、チップ、融資、贈り物、接待、もてなし、インセンティブ、利益、優位性、最良などいかなる形態であれ賄賂の要求を受けた、または賄賂を提供された、強制、暴力、脅迫を受けたSGSの従業員は、直ちにライン管理者およびSGS高潔性ヘルプラインを通じて報告しなければなりません。

SGSの従業員は、賄賂の提供または受領の拒否、便宜を図る約束やそのための金銭の受け渡しの拒否、汚職行為への関与拒否によって罰せられることはありません。

積極的な腐敗行為

SGS従業員は、以下の目的で、直接的または間接的に金銭的利益またはその他の利益を支払ったり、申し出たり、約束したり、汚職行為を行ってはなりません。

- ・ 第三者の決定に影響を与える
- ・ SGSまたは第三者に代わってビジネスを保護する
- ・ SGS、自分自身または第三者に不当な優位性または利益を与える

SGSの従業員が政府関係者に金銭を渡すことは禁止です。

消極的な腐敗行為

SGSの従業員は、直接的または間接的に、次の目的で行われる経済的利益またはその他の利益供与の申し出に対して受諾または同意をしてはならず、汚職行為に関与してはなりません。

- ・ SGS従業員の意思決定に影響を与えること
- ・ 第三者への不当な優位性や利益の確保をSGSの従業員にそそのかすこと
- ・ 検査、認証、監査、試験の結果を偽るまたは改竄すること

インサイダー取引

SGSから正式に開示されていない情報は非公開情報扱いとなります。さらに、SGSは顧客または第三者に関する重要な非公開情報を入手することがあります。インサイダー情報に含まれるのは通常、非公開の決算、戦略計画の草案、合併や買収の提案、計画されている上級管理職の変更などです。

この点に関して：

- ・ 従業員は、SGS、その顧客、第三者に関する非公表の情報に基づいて個人的な投資やビジネスの機会を遂行してはなりません
- ・ 従業員が非公開情報を保有している間は、SGS、その顧客、または第三者の発行する株式、オプションおよびその他の有価証券の取引が禁止されます

- ・ 従業員は、インサイダー情報に基づいての機密情報開示や第三者への投資上のヒント提供を禁止されています

制裁と貿易統制

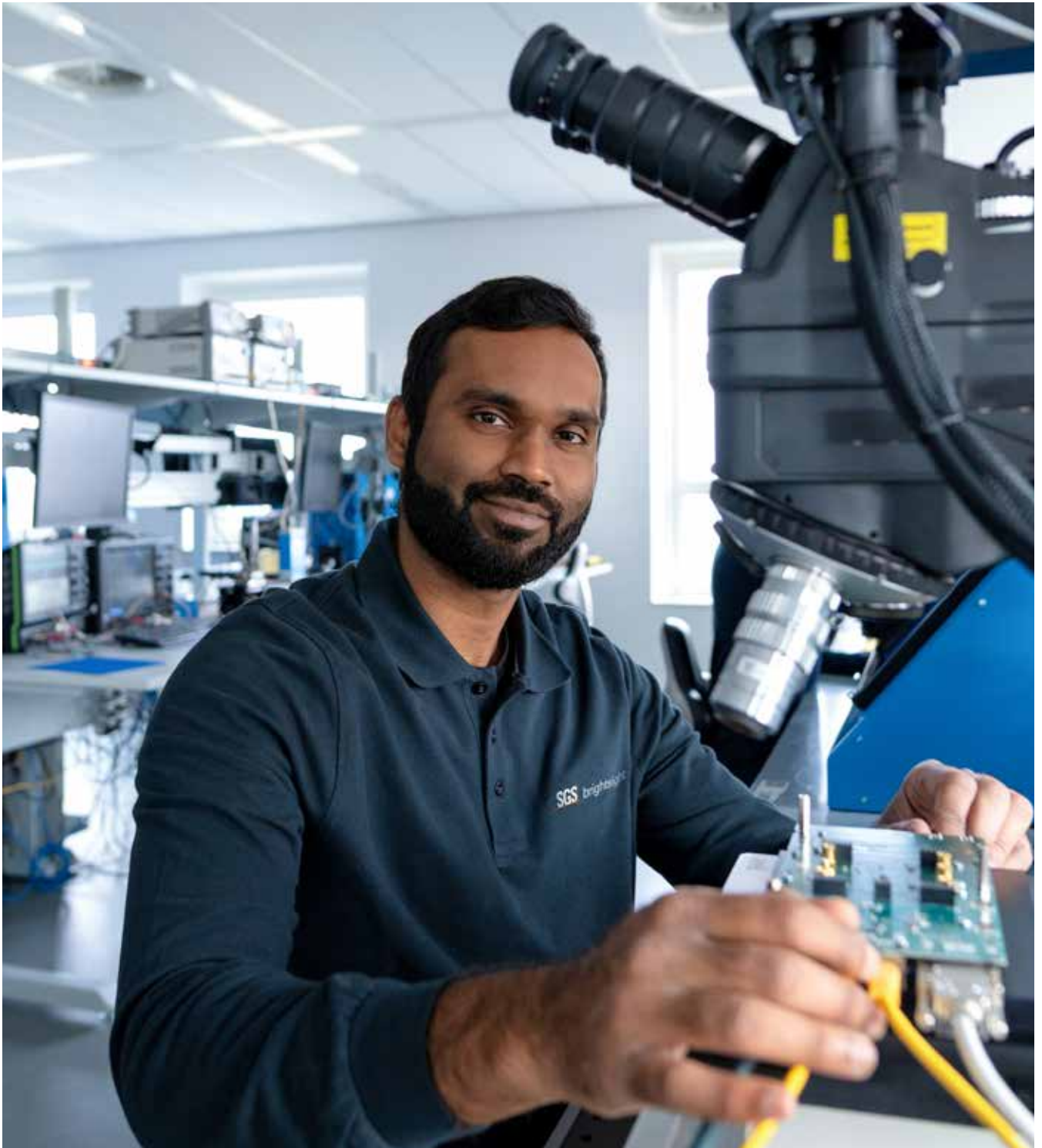
SGSは制裁と貿易統制に関連する適用法を遵守します。この点に関して：

- ・ SGS従業員は第三者との取引や、制裁対象となる取引への関与を禁じられています
- ・ SGSの従業員は適用される貿易管理規制に従わなければなりません
- ・ SGSの従業員は適用される制裁または貿易統制回避のために第三者を支援することを禁じられています

マネーロンダリングと犯罪・テロ資金供与

SGSは、マネーロンダリングやテロ、その他の犯罪活動への資金供与を促すあらゆる試みに対抗することに取り組んでいます。

SGSの従業員は、その取引や活動がマネーロンダリングやテロリストやその他の犯罪活動への資金提供の手段として使用されている疑いがある場合は報告し、SGS高潔性ヘルプラインを通じて助言を求めることが義務付けられています。



When you need to be sure

SGS SA
Zugerstrasse 57
6340 Baar
Switzerland

sgs.com

